

表紙画像について…… 盛丘 由樹年

「波浪と強風」神奈川県鎌倉市・材木座海岸

2021年11月11日撮影

夏が過ぎ、晩秋になっても、サーファーたちは元気だった。

私は鎌倉の海岸通りを歩いていた。その東南部は材木座海岸と呼ばれているところであり、この日、空は晴れていたが、風が強く吹きつけ、海面にはとどころに白波が立っていた。砂浜は狭いから、波がすぐ近くまで押し寄せていた。手前の砂浜で、一人のサーファーが荒海に乗り出そうとしていた。荒れた海の向こう、遠方の岸に稲村ヶ崎が見えていた。V字型の切れ込みは極楽寺のあたりだろう。そしてさらに遠くにぼんやり見えるのは丹沢の山並みだろう（約30kmの距離がある）。

こんな海でウインドサーフィンをする人が何人かいるのには、驚かされた。彼らは、強い風をものともしていない。サーフボードに立ち、帆を立て海面を走ろうとする。下手をすると、落ちて溺れる可能性があるから、必死にブーム（操作するための楕円形の輪）をつかむのだろう。

私は、その数年前、千葉の富津岬の海岸を歩いていた時にも、同じような光景があったことを思い出した。